

パキスタンに於ける剣道活動実績

在パキスタン日本国大使館
剣道講師：安江参事官(教士八段)



大型イベントにおける剣道広報活動



1 日パ国交樹立65周年記念日本文化祭における剣道と居合道の披露

実施場所: イスラマバード国立芸術評議会

実施日時: 2017年10月14日

対象者: パキスタン人, 邦人, 外交団約350名

概要: 日パ国交樹立65周年記念に実施した日本文化祭に於いて, 剣道試合及び居合道の型の披露を行った。当地では初の剣道デモンストレーションであり, 観客からは打ち込みごとに大歓声上がるほど大好評であった。また, 翌日の当地主要紙にも取り上げられた。

本格剣道試合の披露



居合の形の披露



2 2018年度在外公館文化事業日本文化祭に於ける剣道及び居合道の披露

実施場所: イスラマバード国立芸術評議会

実施日時: 2018年10月21日

対象者: パキスタン人, 邦人, 外交団350名

実施概要: 2018年在外公館文化事業日本文化祭において剣道の集合稽古, 試合及び居合道のデモンストレーションを行った。当地では, 大型イベントにおける二回目となる剣道紹介であったが, 観客からは非常に好評であった。また剣道デモンストレーションの様子は, 当地主要紙にも掲載された。

安江参事官と剣道部員による団体稽古披露



3 国際交流基金事業巡回展「武道の精神」展示会における剣道の紹介

実施場所: イスラマバード国立芸術評議会

実施日時: 2019年1月7日~1月20日

対象者: パキスタン人, 邦人, 外交団約750名

概要: 国際交流基金事業として武道の歴史を武具等の展示によって紹介する展示会を実施。鎧兜など武士が戦闘のために使っていた武具を展示するとともに、現在もスポーツとして行われている剣道, 銃剣道, 長刀などの防具を展示。訪れた人々からは、すべて初めて見るものばかりで武道や武士達の歴史について非常に勉強になった。機会さえあれば、現代に生きる武道を学んでみたいとの声が聞かれた。

武士の兜を展示



剣道, 銃剣道の歴史を紹介



教育機関に対する剣道の紹介及び講習会



1 フローベル・インターナショナル・スクールでの剣道講習会

・実施場所:イスラマバード・フローベル・インターナショナル・スクール

・実施日時:2018年11月7日

・対象者:小中学生300名

・概要:剣道の歴史及び一般知識に関する講演を行った後、安江参事官から剣道及び居合道のデモンストレーションを行った。また、生徒達と一緒に剣道の体験教室を行った。当地では、侍や刀の文化を映画やアニメで知っている子供達は多いが実際の剣術を見るのは初めてであり多くの子供達が興味関心を示していた。また、子供達のみならず保護者からも好評を得た。

竹刀と木刀を使った練習



2 ルーツ・インターナショナル・スクールでの剣道講習会

・実施場所:ラワルピンディ・ルーツ・インターナショナル・スクール

・実施日時:2019年4月5日

・対象者:小学生100名及び教師陣

・概要:小学生に対して剣道の一般知識を説明するとともに、安江参事官から剣道及び居合道のデモンストレーションを行った。また、剣道の気合いの声を生徒達と練習するとともに、子供達と木刀を使った素振りの練習を行った。生徒や教師陣から非常に好評であり、定期的に剣道を教えに来てほしいとの強い要望も出された。また子供達との練習風景は当地現地紙にも取り上げられた。

木刀に関する説明



生徒達との木刀の素振り練習



3 国立現代語大学での剣道講習会

・実施場所: イスラマバード・国立現代語大学

・実施日時: 2019年4月17日

・対象者: 国立現代語大学日本語学科学生及び教師陣

・概要: 国立現代語大学日本語学科の学生に対して日本文化学習の一貫として剣道について説明するとともに剣道と居合道のデモンストレーションを行った。また実際に木刀と竹刀を握ってもらい生徒達に剣道の体験をした。日本語を学ぶ学生達にとっての剣道を通したすばらしい日本文化体験となった。学生達からは、初めて木刀を持った！剣道を本格的に習いたい！との声が聞かれた。

木刀の素振り練習



女子生徒との打ち込み練習



4 日本空手協会イスラマバードとの武術交流会

・実施場所: ラフルピンディ

・実施日時: 2019年5月29日

・対象者: 日本空手協会イスラマバード生徒及び講師

・概要: 武術交流の一環として当地で空手を学ぶ日本空手協会の生徒達に剣道を紹介するとともに、空手と剣道の歴史や武道としての共通点などを説明。生徒達に木刀や竹刀を握ってもらい剣道の体験をしてもらった。道具を使った武術は生徒達にとって初めての体験だったため、非常に好評であった。また、武術の一環として定期的に教えに来てほしいとの声が聞かれた。

竹刀の打ち込みの体験



安江参事官からの剣道の説明



剣道の定期講習



1 邦人・外交団向けの剣道講座

・実施場所: 日本大使館講堂

・日時: 毎週水曜日17:30～18:30/毎週土曜日14:00～16:00

・対象者: 邦人, 外交団, パキスタン人

・概要: 水曜17:30～18:30及び土曜14:00～16:00は, 木刀を使った剣道形を練習。
土曜日15:00～16:00は, 剣道の防具を使った打込みの練習。練習の合間に安江参事官から剣道の歴史や古流の技等の説明を行っている。

初球・中級の剣道講習の様子



2 パキスタン人を対象とした剣道講習

・場所: イスラマバード市内「忍術クラブ」の道場

・日時: 毎週木曜日17:30～18:30

・対象者: パキスタン人

・概要: 当地の総合武術を行う「忍術クラブ」会員を対象として、同クラブから「剣道部」を起ち上げ、現在、安江参事官の指導のもと30名近いパキスタン人が剣道の講習を受けている。現在、木刀を使った剣道形の練習を行っている。

素振りの練習をする生徒達



練習前と後の黙想



所感

・日本の各種武道は当地でも精神修行、趣味、護身術等様々な目的で学ばれており、特に用具を必要としない空手や柔道の人気は高い。

剣道については、日本の侍や刀の文化を映画やアニメの影響で多くの人々が知っており人気が高い一方で、剣道指導者が当地にいないこと及び道具を入手とする困難さで広まっておらず、実際に剣道を体験または見たことがある人はほとんどいない。

安江参事官による剣道デモンストレーションは、当地で剣道を広める初の試みであり、すべてのイベントにおいて現地メディアにも大きく取り上げられるなど好評を得ている。

また実際に、体験した人々の中にはもっと剣道を学びたいとの声が複数聞かれた。

今後の広報活動及び指導者の支援によって当地にも剣道を根付せることは可能と考える。

・剣道体験は女性にも非常に人気があった。

当地は男女の接触を禁忌とする文化が根強く残っているが一方で、女性の武術練習への参加や護身術のニーズは高まっている。

剣道は、武具を使用するため身体接触をせずに練習を行うことができるため非常に保守的な当地において女性の学びやすい武道といえる。

今後、剣道を通じた女性のエンパワメント向上にも寄与することが可能である。



剣道交流の思い出

